

# 海外現地法人の動向（要旨）

＜海外現地法人四半期（平成 20 年 10-12 月期）調査＞

～平成 21 年 2 月実施～

平成 21 年 3 月 23 日  
調査統計部企業統計室

## ★ 見通し DI はすべての地域で大幅に悪化、売上高実績は初の減少 ★

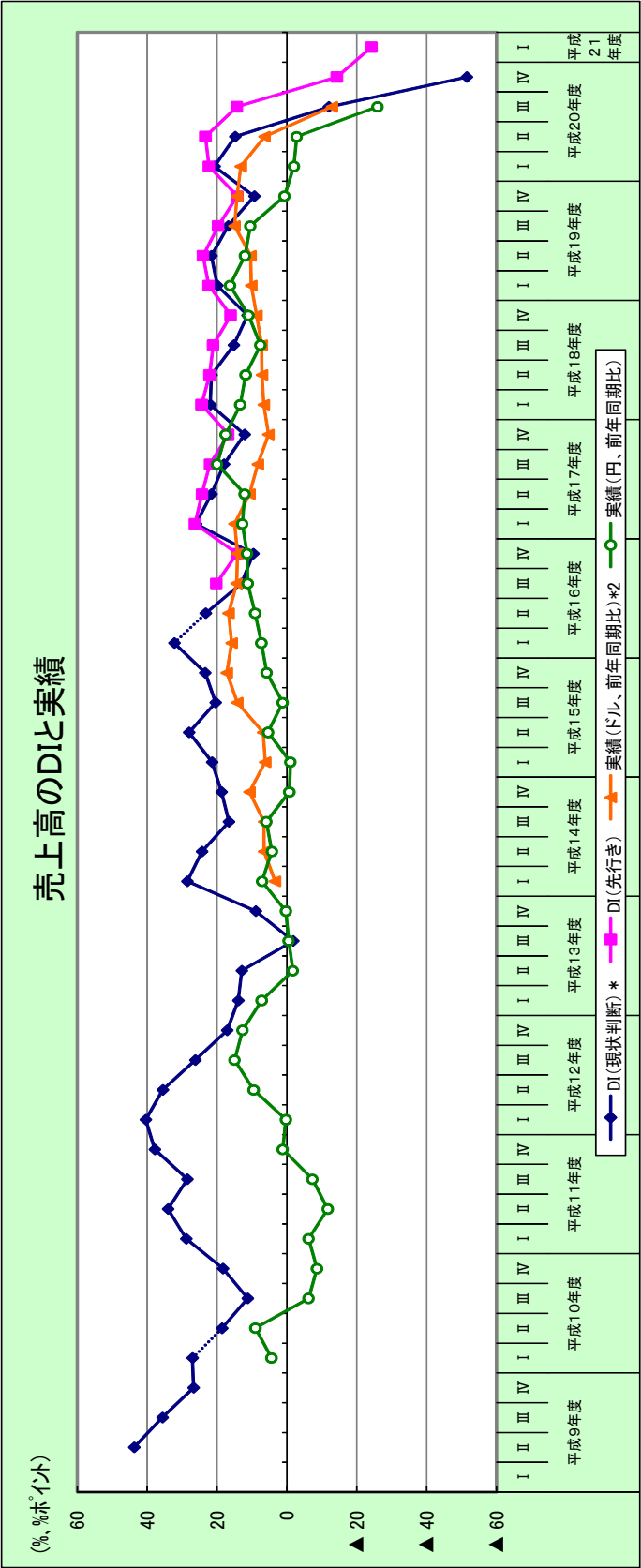
### ☆見通し(現状判断 DI(\*1):平成 21 年 1-3 月、先行き DI:平成 21 年 4-6 月)

1. 売上高 DI は、すべての地域で大幅に悪化。  
現状判断 DI▲51.5、先行き DI▲24.2 と、マイナス水準。前年同期比は、現状判断 DI ▲60.8 ポイント、先行き DI▲46.5 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。すべての地域で、現状判断 DI、先行き DI とも、大幅に悪化。
2. 設備投資額 DI は、すべての地域で大幅に悪化。  
現状判断 DI▲22.7、先行き DI▲17.2 と、マイナス水準。前年同期比は、現状判断 DI ▲36.0 ポイント、先行き DI▲34.3 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。すべての地域で、現状判断 DI、先行き DI とも、大幅に悪化。
3. 従業者数 DI は、マイナス水準。前年同期比は、前回調査を上回る大幅な悪化。

### ☆実績（平成 20 年 10-12 月、前年同期比伸び率）

1. 売上高（ドルベース）は、前年同期比▲12.9%減と、ドルベースの前年同期比公表開始（平成 14 年 4-6 月期）以来初の減少。中国（同 6.7%増）を除き、すべての地域で減少。
2. 設備投資額（ドルベース）は、前年同期比 1.8%増と、4 期連続増加したが、伸び率を縮小。アジア（同 6.6%増）は増加したが、欧州（同▲2.6%減）及び北米（同▲5.8%減）は減少。
3. 従業者数は、前年同期比▲4.9%減と、平成 14 年 1-3 月期以来の減少。  
北米（同▲6.9%減）、アジア（同▲4.8%減）、欧州（同▲3.3%減）とも減少。

\* 1 調査実施時点を含む四半期（現状判断）及びその翌四半期（先行き）に関し、それぞれ前四半期と比較した見通し（「増加」「不変」「減少」）を調査。DI＝「増加」と回答した企業の構成比－「減少」と回答した企業の構成比（%ポイント）。なお、20 年 4-6 月期調査より、DI の比較は前年同期比に変更（現状判断 DI は前年同期の現状判断 DI と、先行き DI は前年同期の先行き DI と比較）。また、本文中、DI 値は数値のみ（例▲5.5）、DI の前年同期比は数値に「ポイント」を付して（例▲5.5 ポイント）記述。



# 見通し

## 1. 売上高

### <全地域>

○現状判断D I（平成 21 年 1-3 月期）は、▲51.5 と、マイナス水準。前年同期比（平成 20 年 1-3 月期の現状判断D I に比べ）▲60.8 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種<sup>(\*)</sup>及びすべての地域で、同▲40 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

○先行きD I（平成 21 年 4-6 月期）は、▲24.2 と、マイナス水準。前年同期比（平成 20 年 4-6 月期の先行きD I に比べ）▲46.5 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種及びすべての地域で、同▲30 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

### <北米>

○現状判断D I は、▲57.3 と、マイナス水準。前年同期比▲65.9 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。特に輸送機械の悪化が目立つ。

○先行きD I は、▲35.3 と、マイナス水準。前年同期比▲50.9 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。

### <アジア地域>

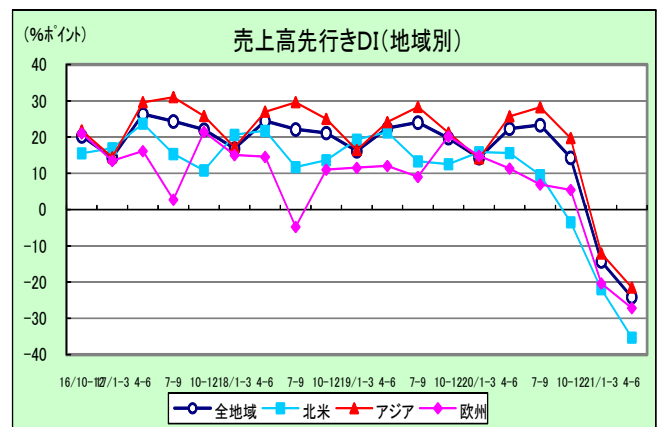
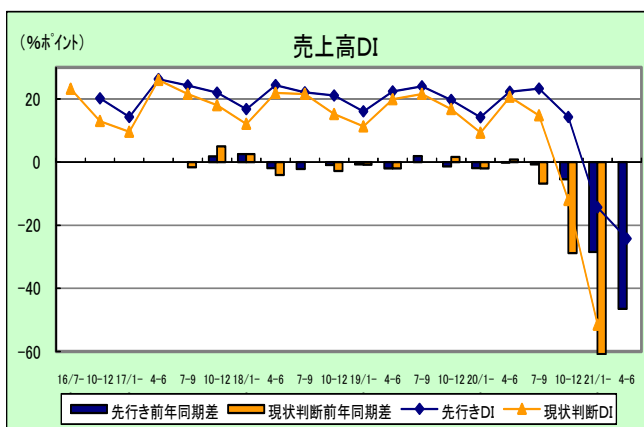
○現状判断D I は、▲51.7 と、マイナス水準。前年同期比▲60.6 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種は、大幅に悪化し、マイナス水準。ASEAN4<sup>(\*)</sup>(▲59.7)、NIEs3<sup>(\*)</sup>(▲49.6)、中国<sup>(\*)</sup>(▲48.5) と、前年同期比▲50 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

○先行きD I は、▲21.5 と、マイナス水準。前年同期比▲47.2 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。ASEAN4 (▲27.4)、NIEs3 (▲26.0)、中国 (▲16.3) と、前年同期比▲40 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

### <欧州>

○現状判断D I は、▲41.3 と、マイナス水準。前年同期比▲58.6 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。特に、輸送機械が悪化。

○先行きD I は、▲27.2 と、マイナス水準。前年同期比▲38.5 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。



\* 1 主要 4 業種： 全 13 業種中、輸送機械、電気機械、一般機械、化学の 4 業種

\* 2～\* 4 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア NIEs3：シンガポール、大韓民国、台湾 中国：香港含む

## 見通し

### 2. 設備投資額（有形固定資産（土地を除く）の当期取得額）

#### <全地域>

○現状判断D I（平成 21 年 1-3 月期）は、▲22.7 と、マイナス水準。前年同期比（平成 20 年 1-3 月期の現状判断D I に比べ）▲36.0 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種及びすべての地域で、同▲20 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

○先行きD I（平成 21 年 4-6 月期）は、▲17.2 と、マイナス水準。前年同期比（平成 20 年 4-6 月期の先行きD I に比べ）▲34.3 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種及びすべての地域で、同▲20 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

#### <北米>

○現状判断D I は、▲33.6 と、マイナス水準。前年同期比▲44.5 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。

○先行きD I は、▲26.5 と、マイナス水準。前年同期比▲38.9 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。

#### <アジア地域>

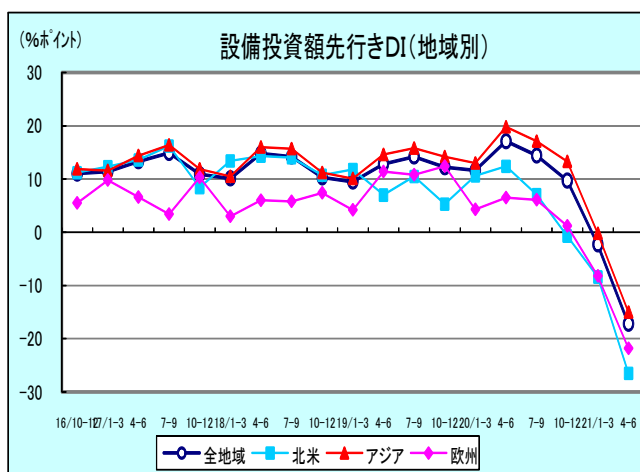
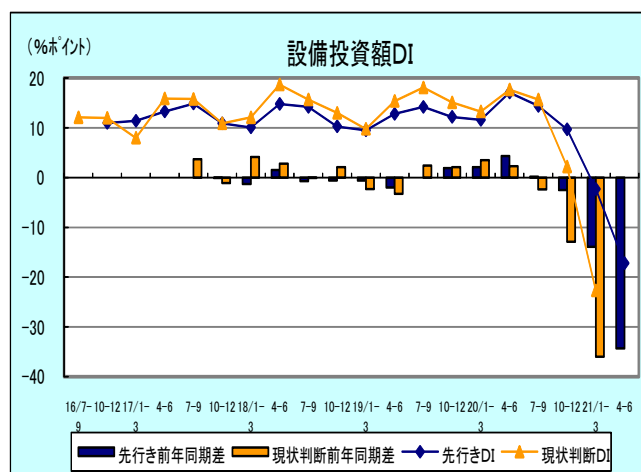
○現状判断D I は、▲19.2 と、マイナス水準。前年同期比▲35.3 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。NIEs3 (▲26.3)、ASEAN4 (▲22.0)、中国 (▲17.6) とともに、前年同期比▲30 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

○先行きD I は、▲15.0 と、マイナス水準。前年同期比▲34.8 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。ASEAN4 (▲18.9)、中国 (▲13.9)、NIEs3 (▲13.2) とともに、前年同期比▲20 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

#### <欧州>

○現状判断D I は、▲30.2 と、マイナス水準。前年同期比▲34.7 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。

○先行きD I は、▲21.8 と、マイナス水準。前年同期比▲28.3 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は悪化し、特に輸送機械の悪化が目立つ。



## 見通し

### 3. 従業者数

#### <全地域>

- 現状判断D I（平成 21 年 1-3 月期）は、▲33.5 と、マイナス水準。前年同期比（平成 20 年 1-3 月期の現状判断D I に比べ）▲43.3 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種及びすべての地域で、同▲10 ポイント以上悪化し、マイナス水準。
- 先行きD I（平成 21 年 4-6 月期）は、▲23.3 と、マイナス水準。前年同期比（平成 20 年 4-6 月期の先行きD I に比べ）▲35.0 ポイントと、前回調査を上回る大幅な悪化。主要 4 業種及びすべての地域で、同▲20 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

#### <北米>

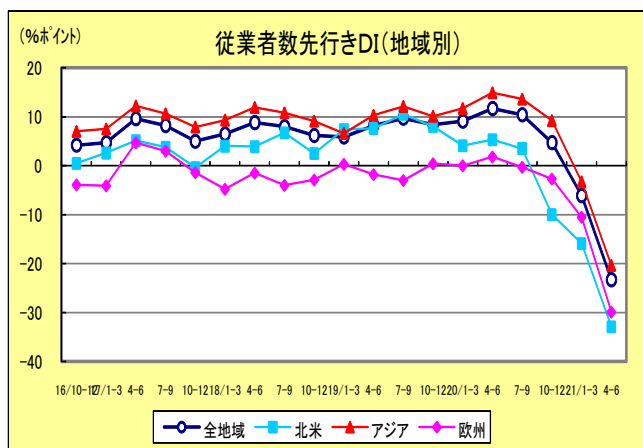
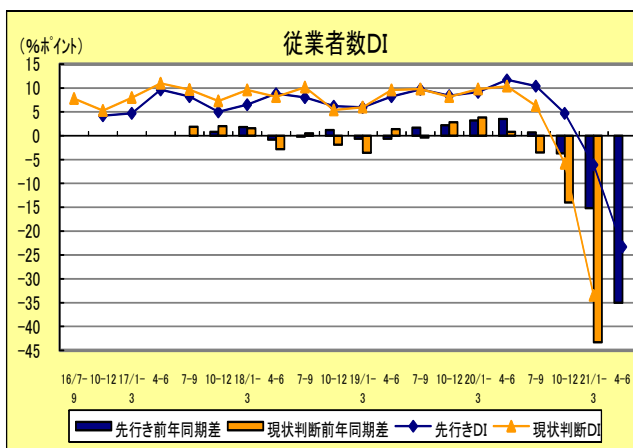
- 現状判断D I は、▲44.5 と、マイナス水準。前年同期比▲48.8 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。特に輸送機械の悪化が目立つ。
- 先行きD I は、▲32.9 と、マイナス水準。前年同期比▲38.2 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。

#### <アジア地域>

- 現状判断D I は、▲31.2 と、マイナス水準。前年同期比▲43.4 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。ASEAN4（▲37.4）、中国（▲28.5）、NIEs3（▲25.6）とも、前年同期比▲20 ポイント以上悪化し、マイナス水準。
- 先行きD I は、▲20.4 と、マイナス水準。前年同期比▲35.3 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は大幅に悪化し、マイナス水準。ASEAN4（▲25.4）、NIEs3（▲20.4）、中国（▲17.1）とも、前年同期比▲20 ポイント以上悪化し、マイナス水準。

#### <欧州>

- 現状判断D I は、▲32.2 と、マイナス水準。前年同期比▲35.3 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は悪化し、マイナス水準。
- 先行きD I は、▲29.9 と、マイナス水準。前年同期比▲31.7 ポイントと大幅に悪化。主要 4 業種は悪化し、マイナス水準。



<参考>D Iの詳細は、報告書「海外現地法人の動向」P 4～P 15、「統計表」P 21～P 41をご覧ください。

# 実績

## 1. 売上高

### <全地域>

○売上高実績（平成 20 年 10-12 月期、ドルベース）は、前年同期比▲12.9%減と、ドルベースの前年同期比公表開始（平成 14 年 4-6 月期）以来初の減少。主要 4 業種及び中国を除くすべての地域で減少し、輸送機械の同▲13.4%減及び一般機械の同▲8.3%減は初の減少。

○売上高実績（平成 20 年 10-12 月期、円ベース）は、前年同期比▲25.9%減と、3 期連続減少。

### <北米 : 売上高シェア 30.9%>

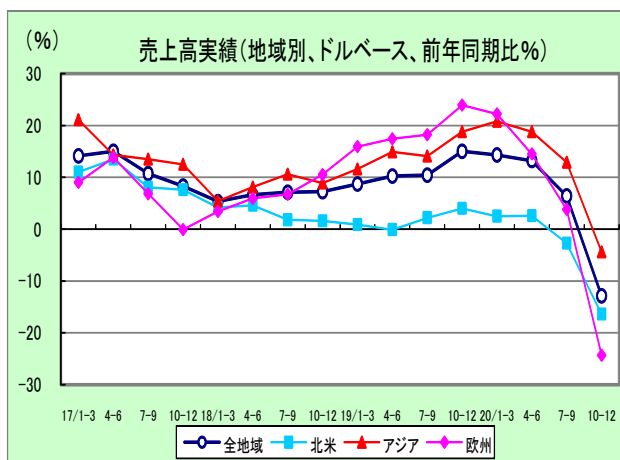
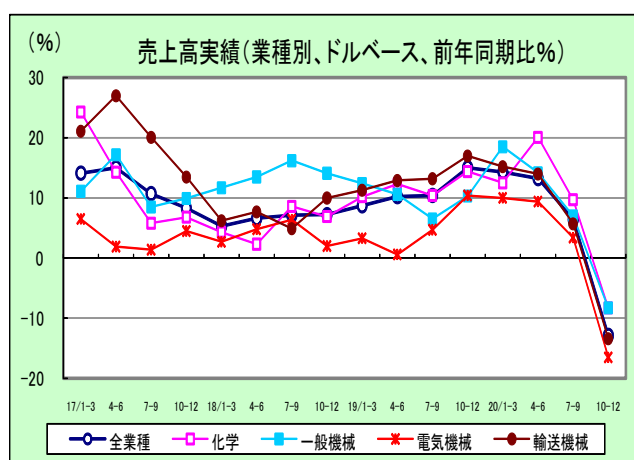
○売上高実績（ドルベース）は、前年同期比▲16.4%減と減少幅を拡大し、公表開始以来最大の減少。主要 4 業種は、化学を除き減少し、特に輸送機械は同▲25.6%減と大幅に減少。

### <アジア地域 : 売上高シェア 44.8%>

○売上高実績（ドルベース）は、前年同期比▲4.4%減と、公表開始以来初の減少。主要 4 業種は、輸送機械の同 7.2%増を除き減少。中国（同 6.7%増）は引き続き増加したが、平成 14 年 4-6 月期以来の 1 桁台の増加。ASEAN4（同▲8.0%減）は初の減少となり、NIEs3（同▲24.1%減）は最大の減少。

### <欧州 : 売上高シェア 17.3%>

○売上高実績（ドルベース）は、前年同期比▲24.3%減と、公表開始以来最大の減少。主要 4 業種は減少し、輸送機械の同▲31.0%減、電気機械の同▲25.9%減、一般機械の同▲24.8%減は、それぞれ最大の減少。



<参考>実績の詳細は、報告書「海外現地法人の動向」P16～P27、「統計表」P1～P20をご覧ください。

## 実績

### 2. 設備投資額（有形固定資産（土地を除く）の当期取得額）

#### <全地域>

○設備投資額実績（平成20年10-12月期、ドルベース）は、前年同期比1.8%増と、4期連続増加したが、1桁台に伸び率を縮小。主要4業種は、一般機械は同31.9%増、化学は同11.8%増、電気機械は同9.6%増と増加したが、輸送機械は同▲1.9%減と4期ぶりに減少。アジアは増加を続けたが、北米は2期連続減少し、欧州は減少に転じた。

○設備投資額実績（平成20年10-12月期、円ベース）は、前年同期比▲13.5%減と、4期ぶりに減少。

#### <北米：設備投資額シェア25.7%>

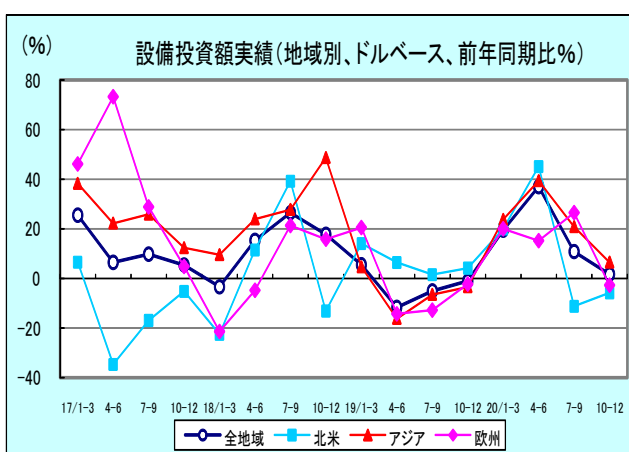
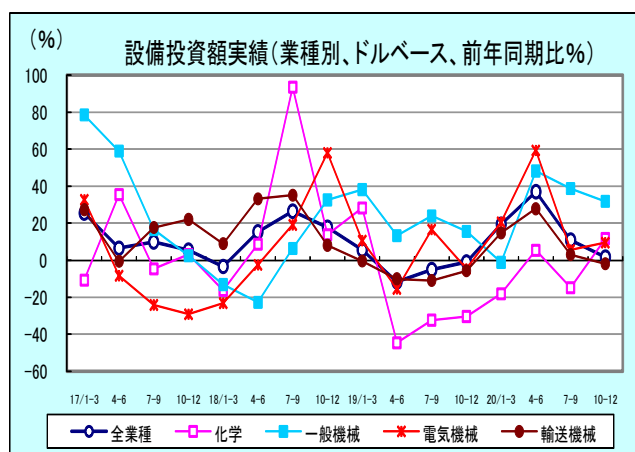
○設備投資額実績（ドルベース）は、前年同期比▲5.8%減と、2期連続減少。輸送機械は同▲8.7%減と2期連続減少し、一般機械は同▲2.5%減と減少に転じた。一方、電気機械は同3.9%増と8期連続増加し、化学は同82.8%増と大幅に増加。

#### <アジア地域：設備投資額シェア54.4%>

○設備投資額実績（ドルベース）は、前年同期比6.6%増と、伸び率は縮小したが、4期連続増加。一般機械は同65.4%増、輸送機械は同7.6%増、電気機械は同6.8%増と増加を続けたが、化学は同▲28.7%減と引き続き大幅な減少。中国（同11.4%増）は、伸び率は縮小したが、4期連続2桁台の増加。ASEAN4（同▲1.7%減）は減少に転じ、NIEs3（同▲2.4%減）は2期連続減少。

#### <欧州：設備投資額シェア13.8%>

○設備投資額実績（ドルベース）は、前年同期比▲2.6%減と、4期ぶりに減少。輸送機械は▲12.7%減と減少に転じたが、電気機械は同38.8%増、化学は同31.0%増と大幅に増加。





## 実績

### 3. 従業者数

#### <全地域>

○従業者数実績（平成 20 年 12 月末）は、前年同期比▲4.9%減と、平成 14 年 1-3 月期以来の減少であり、調査開始以来最大の減少。主要 4 業種は、電気機械（同▲11.7%減）が調査開始以来最大の減少となり、輸送機械（同▲1.0%減）は 13 年 7-9 月期以来の減少。化学（同▲0.8%減）は減少に転じ、一般機械（同 4.8%増）は引き続き増加。北米、アジア、欧州とも減少。

#### <北米 : 従業者数シェア 13.0%>

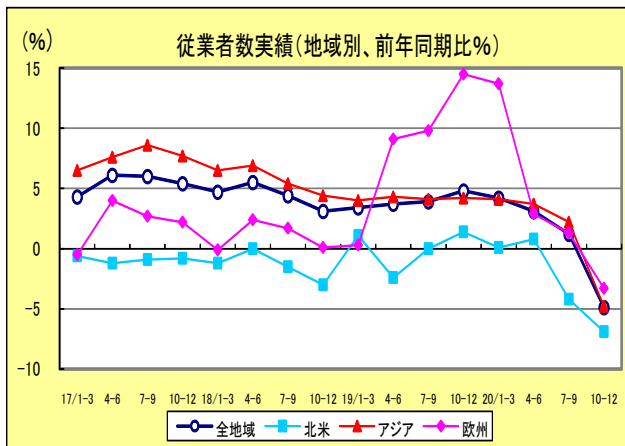
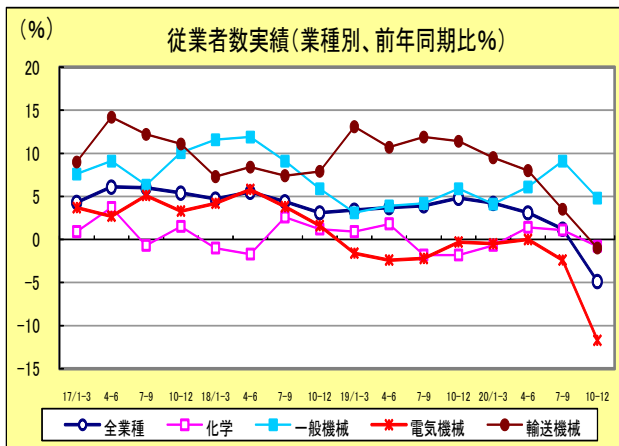
○前年同期比▲6.9%減と、2 期連続減少。主要 4 業種は、化学は引き続き増加したが、電気機械、輸送機械及び一般機械は引き続き減少。

#### <アジア地域 : 従業者数シェア 72.1%>

○前年同期比▲4.8%減と、7 年ぶりの減少。主要 4 業種は、一般機械及び輸送機械は引き続き増加したが、化学は減少に転じ、電気機械は同▲11.7%減と、調査開始以来最大の減少。中国（同▲6.9%減）、ASEAN4（同▲5.0%減）、NIEs3（同▲4.3%減）とも減少し、中国は、電気機械の減少などから、調査開始以来初の減少。

#### <欧州 : 従業者数シェア 9.2%>

○前年同期比▲3.3%減と 11 期ぶりに減少。主要 4 業種は減少し、特に電気機械は▲9.6%減と 3 期連続減少。



#### <参考> 海外経済

世界の景気は後退しており、急速に深刻化している。先行きについては、金融危機と実体経済悪化の悪循環がさらに強まり、一段と下振れするリスクがある。アメリカでは、景気は後退しており、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、急速に深刻化している。先行きについては、悪循環がさらに強まり、景気後退が一層厳しく、長期化するリスクが高まっている。アジアでは、景気は一段と減速しており、一部の国では急速に深刻化している。中国では、景気は一段と減速しているが、景気刺激策の効果が一部に見られる。タイ、マレーシアでは、生産や輸出の大幅な減少により、景気は急速に弱まっている。韓国、台湾、シンガポールでは、景気は後退しており、急速に深刻化している。ヨーロッパでは、景気は後退しており、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、急速に深刻化している。先行きについては、悪循環がさらに強まり、一層厳しさが増すリスクがある。（「月例経済報告」（平成 21 年 3 月）より抜粋）